

本巢市庁舎建設 基本設計書（案）【概要版】

- 1 … 計画のテーマ・コンセプト
- 2 … 計画概要
- 3 … 配置計画
- 4 … フロア構成・平面計画
- 5 … 環境配慮計画
- 6 … 外観計画

基本計画の整備方針

安心・安全の象徴としての庁舎

十分な耐震性能、危機管理対策機能を確保した、安心安全の象徴として、市民の生命を守り、まちの柱となる庁舎。

誰もが使いやすい庁舎

わかりやすく、安心して利用できる窓口機能や駐車場計画、施設全体のユニバーサルデザインなど、だれもが使いやすい庁舎。

機能的・経済的な庁舎

市民や職員が利用しやすい適切な平面構成とし、メンテナンスや将来改編にも対応するライフサイクルコストに配慮した庁舎。

環境にやさしい庁舎

自然エネルギーの活用や省エネルギー技術の導入に加え、周囲の景観や街並みとも調和する、環境にやさしい庁舎。

市民が親しみやすい庁舎

利便機能の充実、活動や交流、情報発信の促進、馴染みある素材の活用など、市民に開かれた親しみやすい庁舎。

計画のテーマ・コンセプト

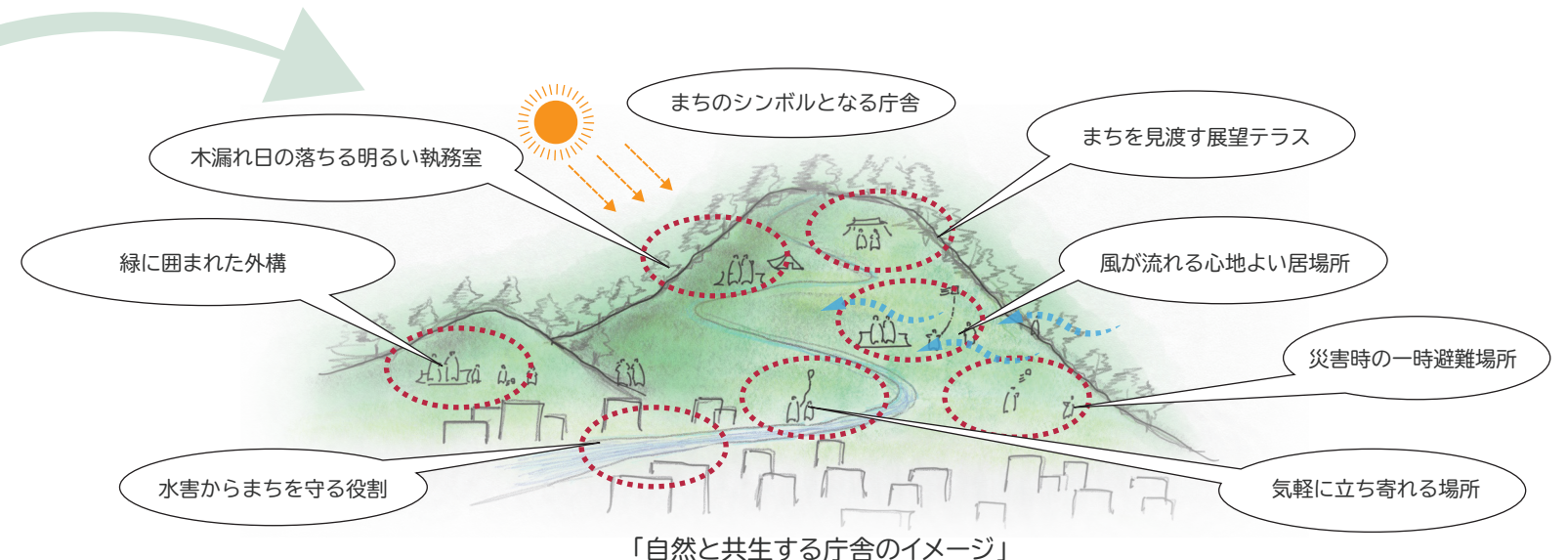
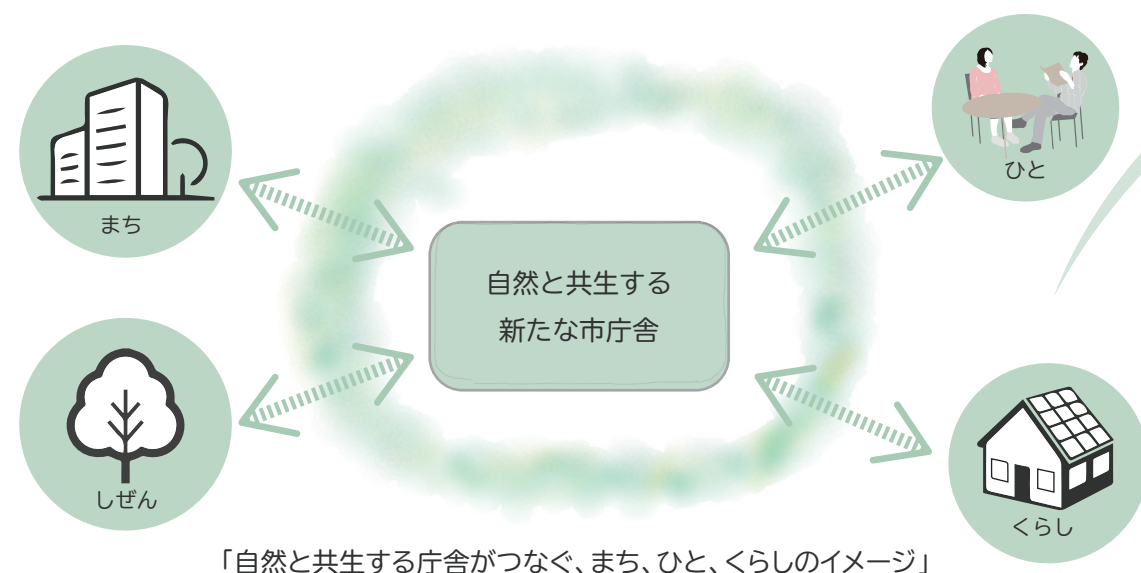
『自然と共生し、まち、ひと、くらしをつなぐ交流の場』

能郷白山などを水源とした清流・根尾川流域を市域にする本巣市は、

春は淡墨桜、夏はアユやホタル、秋は富有柿や山々の紅葉、冬には雪景色といった四季折々の風景など豊かな自然に恵まれたまちです。

本計画は周囲の豊かな自然を取り込み、「まち」「ひと」「くらし」をつなぐことで、まちの新たな核となり、まちに安心安全な暮らし、緑の潤い、豊かな賑わいを与えるシンボルとなる計画を目指します。

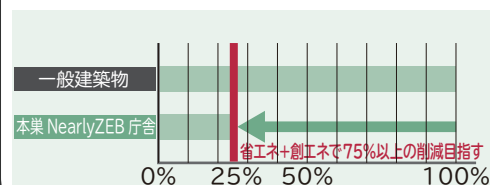
そこで、まちに多くの資源を提供し、人々の暮らしを支え、災害からまちを守り、自然や人との交流の場となっている里山のような庁舎をここに計画します。



■ 環境のデザイン

“自然”と“庁舎”をつなぐ

- ・Nearly ZEBを目指す環境庁舎
- ・周囲の自然に開かれた明るい庁舎
- ・自然換気に寄与する吹抜け空間
- ・自然光あふれる執務空間



■ 景観のデザイン

“まち”と“庁舎”をつなぐ

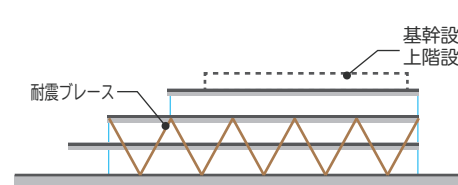
- ・周囲と調和した3層低層庁舎
- ・田園風景と調和する水平テラス
- ・山の稜線と呼応する緑化テラス
- ・まちを見渡す展望テラス



■ 防災のデザイン

“くらし”と“庁舎”をつなぐ

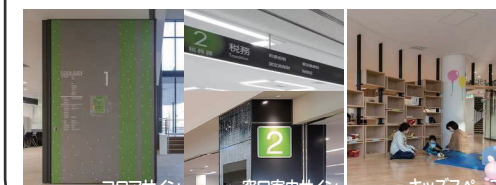
- ・周囲と連携しやすい防災拠点
- ・低層に最適なⅠ類耐震構造
- ・7日間持続可能な庁舎
- ・あらゆる災害を想定した庁舎
- ・防災情報の発信拠点



■ 使いやすさのデザイン

“ひと”と“庁舎”をつなぐ

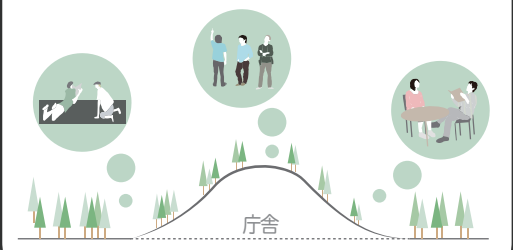
- ・広くフレキシブルなフロア空間
- ・明快なゾーニング計画
- ・安全な車輛アプローチ
- ・子供から高齢者まで対応するユニバーサルデザイン



■ 居場所のデザイン

“ひと”と“ひと”をつなぐ

- ・緑地に囲まれた回遊性のあるランドスケープ
- ・気軽に立ち寄れる市民スペース
- ・本巣の木を活用した暖かい内部空間



2.計画概要

<敷地概要>

- 計画地 ：岐阜県本巣市早野字春日浦地内
- 敷地面積 ：約30,000㎡
- 用途地域 ：特定用途制限地域「幹線道路沿道地区Ⅱ型」
- 防火地域 ：指定なし
- 建ぺい率 ：60%
- 容積率 ：200%

<建築計画概要>

- 主要用途 ：事務所(庁舎)
- 建築面積 ：約3,300㎡
- 延床面積 ：約7,500㎡
- 階数 ：地上3階

<構造計画概要>

- 耐震性能
 - ・国土交通省『官庁施設の総合耐震・対津波計画基準』に準じ、「耐震Ⅰ類」の耐震性能計画とします。
- 構造形式
 - ・耐震性能と低層建築物に対する適性、コスト、工期のバランスを考慮して、耐震構造を採用します。
- 構造種別
 - ・鉄骨造による大スパン架構のフレキシブルな構造躯体を採用します。

<環境計画概要>

- ZEB庁舎
 - ・市民サービスや執務環境の快適性を確保しながら、省エネ+創エネを合わせて75%以上の一次エネルギーを削減する環境負荷に寄与したゼロエネルギー庁舎(Nearly ZEB庁舎)を目指します。

<電気設備計画>

- 電灯設備
 - ・照明器具は環境負荷対策とライフサイクルコストに配慮して、LED器具を採用します。
 - ・積極的に昼光利用を図るとともに、執務室はタスクアンビエント照明を計画します。
- 受変電設備
 - ・災害対策として、3階屋上に屋外型キュービクルを設置し庁舎内へ電源供給を行います。
- 発電設備(自家用発電設備)
 - ・災害対策拠点としての庁舎機能を確保する目的から、発電設備を設置します。
 - ・備蓄容量は7日間連続運転が可能な容量で計画します。また、バックアップとして予備発電機を設置します。
- 発電設備(太陽光発電設備)
 - ・屋上に太陽光パネルを設置し、庁舎内電源系統と接続したシステムとして計画します。
- 誘導支援設備
 - ・外部主要出入口には、目の不自由な方のための音声誘導装置を設置します。
 - ・職員対応が可能となるように、おもいやり駐車場に近接してインターホン設備を設置します。
- 窓口順番案内設備
 - ・市民窓口の順番案内として、発券機と窓口案内表示を設置します。

<機械設備計画>

- 熱源設備
 - ・イニシャルコスト、ランニングコスト、制御性、メンテナンス性、省エネルギー性等を考慮した熱源方式を計画します。
- 空調設備
 - ・ランニングコスト、省エネルギー性、快適性、災害時リスクを考慮し、床放射型空調方式を計画します。
- 換気設備
 - ・外気導入に全熱交換機を使用して熱回収による省エネルギーを図ります。
- 給水設備
 - ・断水、停電に際しても、一定の給水機能を維持できる計画とします。
- 排水通気設備
 - ・災害発生時の浄化槽や放流先のトラブルに備え、庁舎地下ピット空間を活用した緊急排水槽を設置します。
 - ・災害発生時、屋外でのトイレ利用ができるように、マンホールトイレを設置します。
- 雨水利用設備
 - ・屋上部で雨水を集水し、平常時、災害時共に庁内の雑用水に利用可能な計画とします。
- 昇降機設備
 - ・利用形態に適した輸送能力とバリアフリー対応のエレベーターを計2台設置します。
 - ・1台は荷物の搬出入や体調不良者のストレッチャー対応が可能なエレベーターを設置します。

3.配置計画

<配置計画>

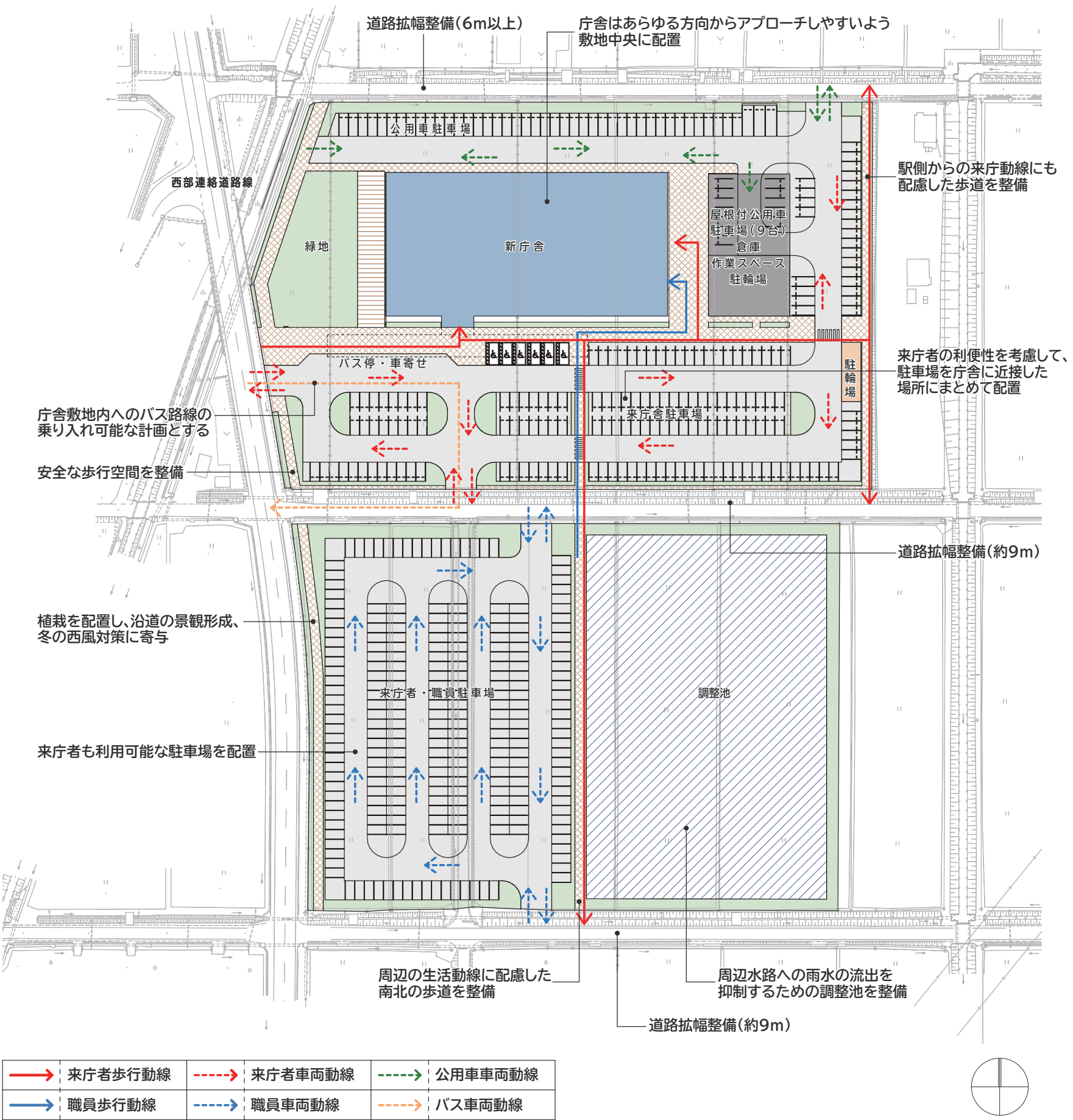
- ・北側敷地には庁舎を配置し、来庁者の利便性に配慮した必要機能を集約します。
- ・南側敷地には、来庁者、職員共に利用可能な駐車場を配置します。
- ・バスが敷地に乗り入れ可能な計画とします。
- ・思いやり駐車場、バス停、車寄せは庁舎に近接して配置し、雨に濡れることなくアプローチ可能な計画とします。
- ・建物南側に正面玄関を設けるとともに、東側にも出入口を設け来庁者がアクセスしやすい計画とします。
- ・各駐車場には2箇所以上の出入口を設け、円滑な進入、退出ができる計画とします。

<外構計画>

- ・敷地内は蒸散による冷却効果や雨水流出の抑制効果等に配慮した潤いある植栽の景観形成を図ります。
- ・植栽はメンテナンスに配慮した樹種を選定します。
- ・庁舎周辺は車の利用が増えることから、敷地外周部に安全な歩行空間を整備します。

<造成計画>

- ・庁舎が建つ敷地は万が一の浸水災害を考慮して、盛土整備を行います。
- ・北側、中央、南側道路は、道路拡幅整備を行います。
- ・道路拡幅整備に伴い、付設する水路の整備を行います。
- ・雨水の流出抑制を図るための開放型の調整池を整備します。
(今後の詳細な検討内容によって、形状、規模等が変わる可能性があります。)
- ・調整池は、平常時の多目的利用を検討します。



5.環境配慮計画

＜環境配慮計画＞

- ・自然エネルギーと省エネ技術を取り入れることで、環境保全に配慮した、自然と共生する持続可能な庁舎を計画します。

建物：環境負荷の影響が少ない東西軸に長い建物形状とします。

植栽：外構や建物緑化を設け、蒸散効果や日射抑制効果、冬季の西風対策を図ります。

庇：テラスやメンテナンスバルコニーによって、日射遮蔽を図ります。

屋根：広い屋上空間を活用して、太陽光発電機の設置、雨水利用のための集水を行います。

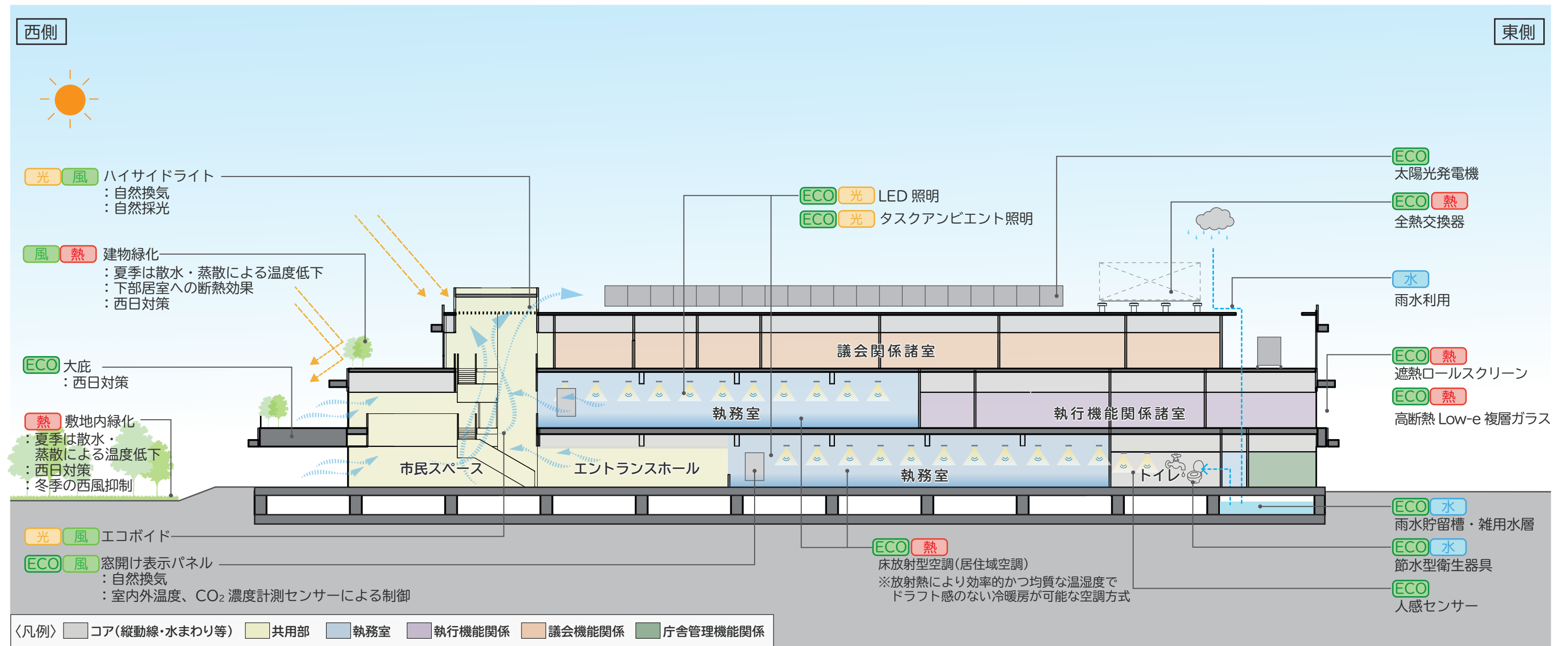
雨水 : 雨水は集水して、トイレ等の洗浄水に利用します。

外装 : 外壁は断熱材、窓ガラスはLow-E複層ガラスを活用し、建物の空調負荷低減を図ります。

開口部：人が長期滞在する諸室は窓に面した配置とすることで自然採光を確保するとともに、開閉可能な窓により自然換気の可能な計画とします。

執務室：大空間の執務室は床放射型空調により、均質な快適空間とします。

吹抜け：吹抜け上部にはハイサイドライトを設け、自然採光を取り入れるとともに、施設全体の換気や執務室・待合エリアに対して西側からの熱負荷を低減させます。



【環境配慮型庁舎イメージ断面】

6.外観計画

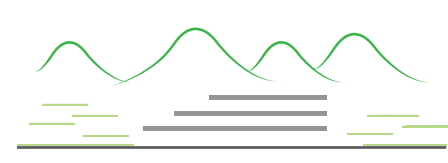
本巢市の豊かな自然景觀を形成する「木」や「緑」を庁舎の外観デザインに取り入れることで、景觀と調和した市民が親しみやすい里山のような庁舎を計画します。

環境のデザイン



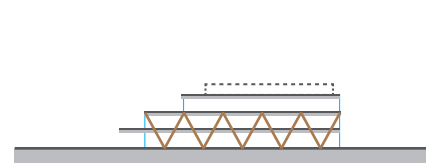
風、光、環境に応答する外装デザイン

景觀のデザイン



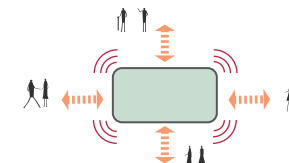
山並みや田園風景と調和する水平テラス

防災のデザイン



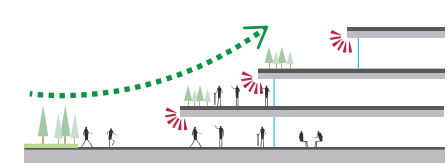
安心安全の象徴としてのブレース

使いやすさのデザイン



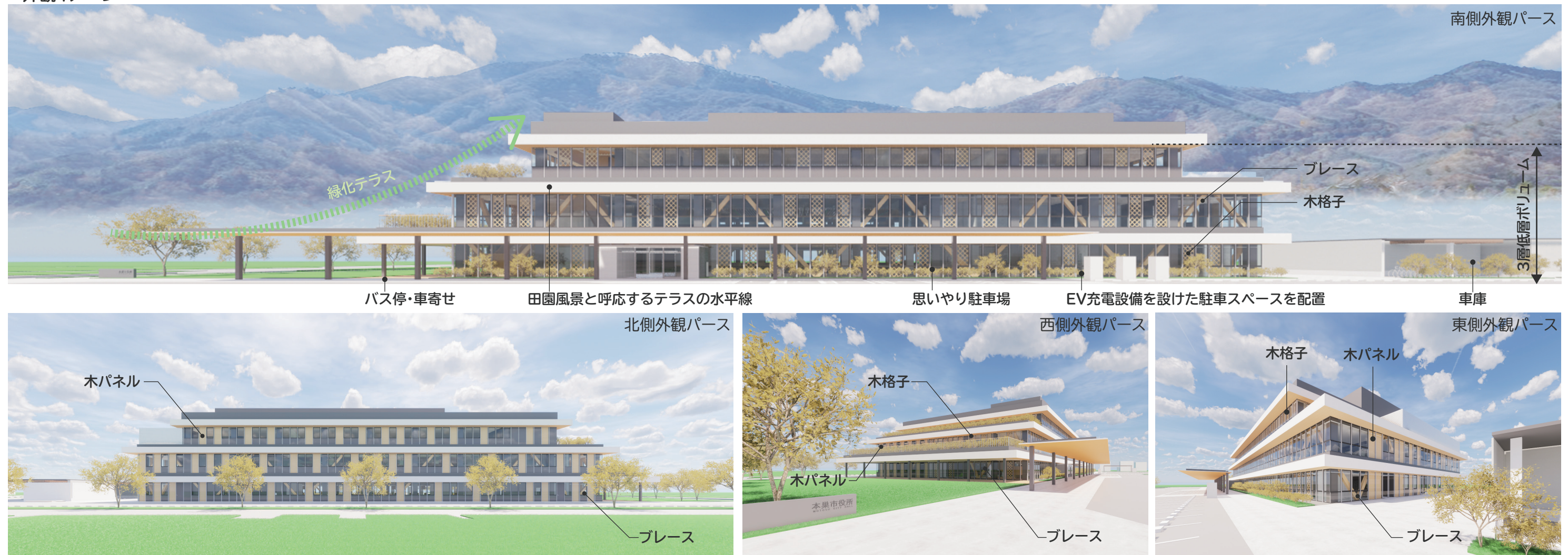
周囲に開き市民を出迎える

居場所のデザイン

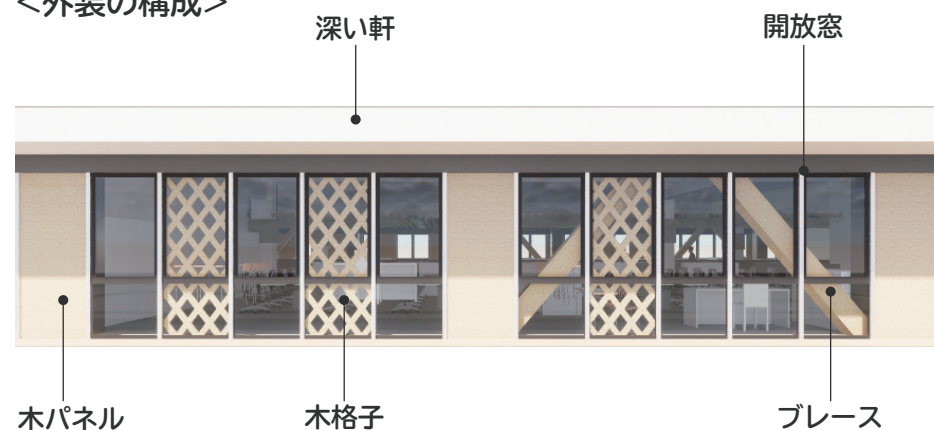


大きな底下空間と緑の連続

<外観イメージ>



<外装の構成>



■ **木パネル**：木パネルは建物内部に設けるとともに、木の表情をガラスを通して外部に見せることで、市民に親しみやすいデザインとして計画します。

■ **木格子**：木格子は日射遮蔽に寄与する機能として可動式の壁で構成し、建物内部に設けます。可動式とすることで、日射遮蔽が必要な箇所に自由に移動させることのできる壁とし、働きやすい執務環境を実現します。

■ **ブレース**：耐震Ⅰ類構造の要として寄与する鉄骨ブレースの座屈拘束材に木を活用し、外観に木のブレースを積（木活用）極的に見せることで庁舎としての安心感や木材活用アピールの場としても発信していきます。

■ **開放窓**：窓は縦すべり出し窓又は外開き窓で構成し、外部の風を内部に取り入れる自然換気窓として快適な執務空間の実現に寄与するとともに、火災時の排煙窓としても使用できる窓とします。

仕上げ×親しみやすいデザイン

仕上げ×日射遮蔽

仕上げ×構造×木活用アピール

自然換気×自然排煙